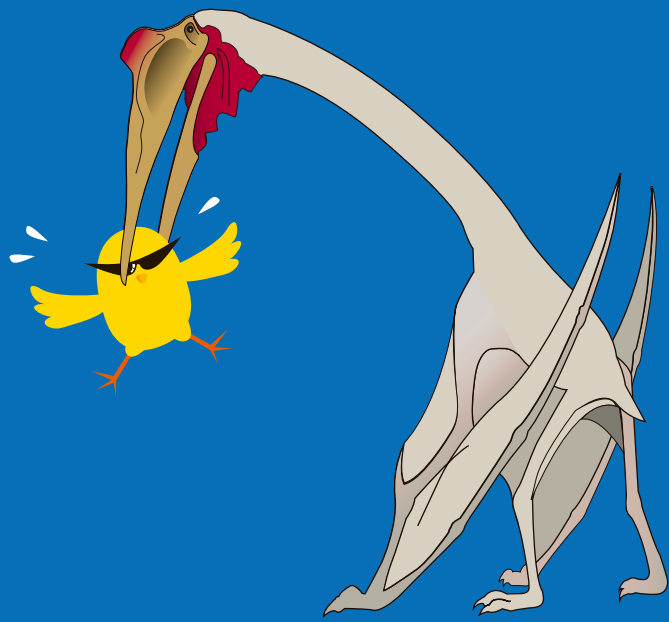


ぴよん=平均的現代人の比率だと思ってください  
ケツアルコアトラス…、凄すぎる…！



# ヒヨコのわき道

ほら、君もこっちに いらっしやい

## 第22回 世界でイチバン！ くすり指の長い動物？

「これは一体なんでしょう？」

ここに、ある四足で背骨のある動物の骨格（化石）があるとします。

頭の骨は、目が入る穴がとても大きく、顎は細長く、小さなとがった歯が並んでいます。

腰の骨と後ろ足は、ずいぶん貧弱に見えます。

一番不思議なのが前足です。小指が無くて、全体は四本指です。親指、人差し指、中指は、カギ爪の付いたトカゲのような短い指ですが、四本目の指、「くすり指」が、やたらめっぽうに長いのです。そのうえ、腕の骨のように太い。

どのくらいくすり指が長いかというと、体長に匹敵するほどなのです。信じられますか？ もしも私たちのくすり指が、身長ぐらいに長かったら、きっと一切の道具は使えないし、ドアを開けることも難しいでしょう。一体どうやって暮らせばいいのでしょうか？

「どんな動物の仲間なの？」

さて、そんな動物は今、この世界のどこにも生きていません。絶滅して、化石しか残っていないんです。

もしこんな化石が、今まで誰も見たことの無いものだったら、まず現在生きているどんな動物に近いかを調べ、その次に、どんな暮らしをしていたか考えていくわけです。実際、上記のような化石が「世界で始めて見つかった時」、大昔の学者がどう考えたかと言うと、初期の研究はまさに大混乱。諸説が飛び交う有様です。

ある学者は、

「この動物は爬虫類のようだ。膜が張った長いくすり指を、ボートのオールのように使って、水面を泳いでいたのではないか？」と考えました。

またある学者は、

「この動物は有袋類（カンガルーの仲間）であり、この長い指に張った膜は翼である。」

と考えました。

でも両方ともちょっと残念。フランスの偉大な解剖学者、解剖学の神様。ジョルジュ キュビエ大先生は、この動物が「翼を持った爬虫類」であることを見事に見抜きました。そして後に、この動物には「翼竜：プテロサウルス」というグループ名が与えられたのです。

その後、翼竜の仲間の化石はたくさん発見され、大きさは、スズメ程度のものから、翼を開いた差し渡し10メートルを超えるものまで、多様な種類が知られるようになりました。

「翼竜さん、どうやって歩いたの？」

翼竜たちが地上に降りたとき、それはどんな姿勢だったか？

鳥のように二本足でスタスタと歩いたのか？ 四つんばいだったのか？

これもかなり長い議論が続きました。しかし結局のところ、長いくすり指を根元の関節で斜め後方に折りたたんで、這うように四足で歩いたというのが大方の結論のようです。

小さな翼竜ならまるで地上のコウモリですが、大型の種類なら、まるで生きたテントがにじり寄って来るように見えたのでしょうか？

「生きた軽飛行機？ キリンと背比べをする翼竜」

ケツアルコアトラスという最大級の翼竜は、開いた翼の差し渡しが、左右あわせて12メートルもあるような巨大な翼竜です。おまけに長い首と、長い顎を持っていました。

だから地上に降りているときは、首を立てて、その細長い頭を首の付け根でゆったりと曲げていたのではないのでしょうか？ その両脇後方に、まるで帆を張るように、長いくすり指が伸び上がるわけです。

このサイズは、まるで巨大な帆を張ったキリンです。

キリンが12メートルの翼をひろげて、突然空へ飛び立ったら、どう思われますか？

ケツアルコアトラスは、アステカ神話に登場する、空飛ぶ巨大な神獣にちなんで付けられた名前です。きっと他に例えようが無かったのでしょうか。

「長いくすり指が指し示すもの？」

翼竜の姿をみていると、私たち人間の想像力に比べて、自然の「創造力」がいかに強大なものか、これでもかと突き付けられているようです。人間が想像した神話上の怪物には、蛇に翼を付けたものや、コウモリの翼を付けたドラゴン等がありますが、これらの想像上の怪物は、昔から人間が知っている生き物の特徴を、組み合わせたり、重複させたりしただけのデザインです。

翼竜の化石を初期に研究した真面目な学者の、誤りに満ちた解釈だって、今知れば思わず笑ってしまうようなものですが、これは私たち人間が、「誰も知らないもの、見たことも聞いたことも無いもの、存在しないもの」について考えることが、いかに困難かを示しているのではないのでしょうか？

時には、過去から現在まで存在した本物の生き物のデザインが、どれだけ多様性にあふれているか、図鑑でも持ち出して、眺めてみてはいかが？

だって偶然化石が発見されるまでは、「くすり指一本で羽ばたくトカゲ」がいたなんて、世界中の人間たちは誰も、想像さえできなかったのですから。